

安全データシート

作成日 2012年10月15日
改定日 2024年4月1日

1.化学品及び会社情報

製品の名称 : レオナイス ボディソープ
販売名 : LHナイスボディソープA2a

会社名 : ライオンハイジーン株式会社
住所 : 東京都台東区蔵前1-3-28
担当部門 : 企画開発部 研究所
電話番号 : 03-3616-3159
FAX番号 : 03-3616-3208
推奨用途及び
使用上の制限 : ボディソープ(化粧品)
推奨用途以外で使用しない
整理番号 : 2601

2.危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口)
: 急性毒性(経皮)
: 急性毒性(吸入・蒸気)
: 皮膚腐食性/刺激性
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
: 呼吸器感作性
: 皮膚感作性
: 生殖細胞変異原性 区分2
: 発がん性 区分2
: 生殖毒性
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(中枢神経系)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: 誤えん有害性
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) 区分2
: 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3
: オゾン層への有害性

※ 上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

: 警告
: 強い眼刺激
: 遺伝性疾患のおそれの疑い
: 発がんのおそれの疑い
: 臓器<中枢神経系>の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期的継続的影響により水生生物に有害

* 上記の危険有害性情報の詳細については、「11.有害性情報」の項を参照。

注意書き

〔安全対策〕

： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

〔応急措置〕

： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察／手当てを受けること。

〔保管〕

： 施錠して保管すること。

〔廃棄〕

： 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

組成及び含有量

成分名(化粧品表示名称)又は一般名	含有率(%)	化管法 ⁽¹⁾	化審法 ⁽²⁾	安衛法 ⁽³⁾	CAS番号
水	非公開	—	—	—	7732-18-5
ラウレス硫酸Na	非公開	409	(7)-155	—	9004-82-4
塩化Na	非公開	—	非公開	—	非公開
ラウリル硫酸ナトリウム	非公開	275	(2)-1679	—	151-21-3
オレフィン(C14-16)スルホン酸Na	非公開	694	非公開	—	非公開
ジステアリン酸グリコール	非公開	—	非公開	—	非公開
コカミドDEA	非公開	707*	非公開	—	非公開
ラウリルベタイン	非公開	681*	(2)-2709	—	683-10-3
PG	非公開	—	(2)-234	—	57-55-6
グリコシルトレハロース	非公開	—	非公開	—	非公開
加水分解水添デンプン	非公開	—	非公開	—	非公開
α-グルカン	非公開	—	非公開	—	非公開
グルコシルセラミド	非公開	—	非公開	—	非公開
セイヨウオトギリソウエキス	非公開	—	—	—	—
アルニカ花エキス	非公開	—	—	—	—
セイヨウトチノキ種子エキス	非公開	—	—	—	—
ハマメリス葉エキス	非公開	—	—	—	—
ブドウ葉エキス	非公開	—	—	—	—
セイヨウキズタ葉／茎エキス	非公開	—	—	—	—
デシルグルコシド	非公開	—	非公開	—	非公開
BG	非公開	—	非公開	—	非公開
クエン酸	非公開	—	非公開	—	非公開
EDTA-2Na	非公開	595*	非公開	—	139-33-3
安息香酸Na	非公開	—	非公開	—	非公開
香料	非公開	—	非公開	—	非公開
黄4	非公開	—	(5)-1402	—	1934-21-0

--	--	--	--	--	--

(1) 化学物質排出把握管理促進法 管理番号(令和5年4月1日施行)

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法 第57条 施行令第18条第1号別表第9 (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 政令番号(令和3年1月1日施行)

ー: 該当しない

*: 対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

4.応急措置

- 吸入した場合 : 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流すこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 眼を擦らず直ちに清浄な水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

5.火災時の措置

- 適切な消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置 : 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
こぼれた場合はすべりやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。
眼、衣類に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 保管
- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。

容器包装材料 : 冬期は凍結を避けるため、0℃以下にならない場所で保管すること。
: 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
: 専用の詰め替え容器以外に移し替えて保管しないこと。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

設備対策 : 特になし。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて保護マスクを使用する。

手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。

眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護衣を使用する。

その他 : 通常使用の範囲内では保護具着用の必要は特にない。

9.物理的及び化学的性質

物理状態 : 粘性液体

色 : 淡黄色パール状

臭い : 芳香臭

融点／凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : 不燃性

爆発下限界及び上限界／可燃限界 : データなし

引火点 : 引火性なし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH(原液) : 5.4(代表値)

動粘性率(25℃) : 2,500mm²/s(代表値)

溶解度 : 水に分散する。

n-オクタノール／水分配係数(log値) : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度(25℃) : 1.03(代表値)

相対ガス密度 : データなし

粒子特性 : データなし

10.安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定。

危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件 : 高温(40℃以上)になる場所、直射日光のあたる場所、凍結のおそれのある場所で保管しない。

混触危険物質 : ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

11.有害性情報

急性毒性

経口

: ヲラウレス硫酸NaはList3の情報源であるが、ラットを用いた経口投与試験のLD50値が1,600 mg/kg(RTECS(1999))との記述より、【区分4】。

ヲウリル硫酸Naはラットを用いた経口投与試験のLD50値1,200 mg/kg(OECD TG 401)(SIDS(2009))、2,730 mg/kg(EHC 169(1996))との2件の報告がある。1件が【区分4】に、1件が【区分外】(国連分類基準の【区分5】)に該当するが、OECD TG 401準拠であり、かつLD50値の最小値が該当する【区分4】。

ヲオレフィン(C14-16)スルホン酸NaはラットのLD50値として、578 mg/kg、2,220 mg/kgの報告(SIDS(2009))がある。このLD50値はそれぞれ【区分4】及び【区分外】に該当するが、LD50値の該当する【区分4】。

ヲコカミドDEAはラットのLD50値として、12,200 mg/kg、> 5,000 mg/kgとの報告(HSDB(Access on July 2015))に基づき、【区分外】。

ヲウリルベタインはラットのLD50値(OECD TG423)として、300~2,000 mg/kgとの報告(厚労省既存化学物質毒性データベース(Access on July 2015))に基づき、【区分4】。

ヲ以上のデータより、本製品としての急性経口毒性推定値(ATE)は5,000 mg/kgを超えるため【分類できない】とした。

皮膚腐食性/刺激性

: ラウリル硫酸Na、ヲウレス硫酸Na、コカミドDEAは【区分2】に分類されているが、合計含有率がカットオフ値(10%)未満であるため、【区分に該当しない】とした(国連分類の【区分3】)。

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性

: ラウリル硫酸Na、デシルグルコシドは【区分1】、ヲウレス硫酸Naは【区分2】、ヲオレフィン(C14-16)スルホン酸Naは【区分2B】に分類されており、【区分2】の判定基準「 $10 \times \text{眼区分1} + \text{眼区分2/2A} \geq 10\%$ 」に該当するため【区分2A】とした。

呼吸器感作性

: 情報なし

又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

: コカミドDEAは【区分2】に分類されており、含有率がカットオフ値(1.0%)以上のため【区分2】とした。

発がん性

: コカミドDEAは【区分2】に分類されており、含有率がカットオフ値(1.0%)以上のため【区分2】とした。

生殖毒性

: オレフィン(C14-16)スルホン酸Naは【区分2】に分類されているが、含有率がカットオフ値(3.0%)未満であるため、【分類できない】とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: ラウリル硫酸Naは【区分1】(中枢神経系)、ヲウレス硫酸Naは【区分2】(消化器系)、ヲウリルベタインは【区分2】(消化管)、ヲオレフィン(C14-16)スルホン酸Naは【区分3】(麻酔作用)に分類されており、ヲウリル硫酸Naの含有率は1.0~10%のため【区分2】(中枢神経系)とした。なお、ヲウレス硫酸Naとヲウリルベタイン、ヲオレフィン(C14-16)スルホン酸Naの各含有率は10%未満のため【区分2】および【区分3】には該当しない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: ラウリル硫酸Naは【区分2】(肝臓)、ヲウリルベタインは【区分2】(腎臓、膀胱)、コカミドDEAは【区分2】(甲状腺、肝臓、腎臓)に分類されているが、対象臓器ごとに集計した各含有率はカットオフ値(10%)未満であるため、【分類できない】とした。

誤えん有害性

: ラウリル硫酸Naは【区分1】に分類されているが、含有率がカットオフ値(10%)未満であるため、【分類できない】とした。

その他の情報

: 薬機法(旧薬事法)上の化粧品は、本来GHSに従った有害危険性区分の必要はないが、形式上その分類区分に従った上記の有害危険性は、通常の使用量による使用量をはるかに超える暴露があった場合にのみ適用される危険性を含む。

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	: ラウリルベタイン、ラウリル硫酸Naは【区分1】、ラウレス硫酸Na、オレフィン(C14-16)スルホン酸Naは【区分2】に分類されており、【区分2】の判定基準「毒性乗率 $M \times (10 \times \text{区分1}) + \text{区分2} > 25\%$ 」に該当するため【区分2】とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	: ラウレス硫酸Naは【区分2】、ラウリル硫酸Na、ラウリルベタインは【区分3】に分類されており、【区分3】の判定基準「 $(10 \times \text{区分2}) + \text{区分3} > 25\%$ 」に該当するため【区分3】とした。
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	
陸上輸送	: 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光・高温多湿・氷点下での保管を避ける。
緊急時応急措置指針番号	: 該当しない

15.適用法令

薬機法(旧薬事法)	: 化粧品
化学物質排出把握管理促進法	: 第1種指定化学物質 管理番号 409 【ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム】3.8% 第1種指定化学物質 管理番号 275 【ドデシル硫酸ナトリウム】3.5% 第1種指定化学物質 管理番号 694 【ナトリウム＝アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム＝ヒドロキシアルカンスルホナート(アルカンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)並びにこれらの混合物】1.9%
労働安全衛生法	
危険物	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当

名称等を表示すべき危険 : 非該当
物及び有害物(令和6年4
月1日施行)

名称等を通知すべき危険 : 非該当
物及び有害物(令和6年4
月1日施行)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非危険物

航空法 : 非危険物

16.その他の情報

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。尚、営業秘密である成分情報は非開示、非公開(濃度においては幅記載を含む)と記載している場合があります。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。
